

大津町議会 経済建設常任委員会行政調査

氏名 大村 裕一郎

視察研修名：大津町議会経済建設常任委員会行政調査

視 察 先：宮城県名取市、宮城県大和町

期 日：令和6年8月7日（水）～8日（木）

研修テーマ：名取市「なとり臨空タウン構想について」

大和町「半導体企業誘致におけるインフラ整備」

研修報告 意見・感想

【なとりりんくうタウン】

大津町では、空港アクセス鉄道の肥後大津ルート決定に伴い、中間駅の設置の検討に入っている。名取市でも同じようにアクセス鉄道があり、周辺に「なとりりんくうタウン」を形成し、沿線沿いに発展的なまちづくりを行っているため視察を行った。

市職員に概要の説明を受けた後に、このりんくうタウン内の杜のせきした地区、美田園地区を視察したが、まず第一に区画整理が非常に進んでおり、例を見ないような景観が形成されていた。

住民の方々の利便性やまちづくりの拡張性など非常に進んでおり、ぜひ大津町にもその考え方を導入するべきではないかと感じた。

また職員からの説明ではやはり県の協力が大きかったとの言葉もあり、その点も重要なポイントではないか考える。

【大和町工業団地】

大和町においては、工業団地の視察を行った。その概要の説明を受けた後に視察を行った。

やはり、目を引くのは、その規模の大きさである。名だたる大企業が団地内にあり、そのサプライヤーなども来ており、非常に大きな工業地帯が形成されていた。また、交通に関しても利便性が高く、工業において重要な陸路での運送にも対応している。

大津町においても、現在護川小学校周辺に工業団地を整備する計画があるが、ここ以外にも交通の利便性が高く、基本的なインフラが整備された工業団地整備計画を並行して進めるべきではないかと感じた。